

2020 年度 資格スクール大栄

## 第 157 回日商簿記検定試験 模範解答

## 2 級

## 商 業 簿 記

## 第 1 問 (20 点)

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	現 金	973,080	売買目的有価証券	980,000
	有価証券売却損	10,000	有価証券利息	3,080
2	支払手形	2,000,000	支払手形	2,080,000
	支払利息	80,000		
3	買掛金	1,200,000	当座預金	1,188,000
			仕入割引	12,000
4	建物	600,000	当座預金	1,500,000
	修繕引当金	700,000		
	修繕費	200,000		
5	その他有価証券	1,000,000	繰延税金負債	300,000
			その他有価証券評価差額金	700,000

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 第 2 問 (20 点)

1.

固 定 資 産 台 帳					2019年3月31日現在	
取得年月日	種類	耐用年数	期首(期中取得)取得原価	期首減価償却累計額	差引期首(期中取得)帳簿価額	当期減価償却費
リース資産						
備品						
17. 4. 1	備品A	5年	6,600,000	1,320,000	( 5,280,000)	( 1,320,000)
14. 10. 1	備品B	5年	6,000,000	4,200,000	( 1,800,000)	( 1,200,000)
15. 4. 1	備品C	6年	7,344,000	3,672,000	( 3,672,000)	( 1,224,000)
機械装置						
16. 4. 1	機械D	8年	( 13,440,000)	( 3,360,000)	( 10,080,000)	( 1,680,000)
18. 10. 1	(機械F)	(8年)	( 27,840,000)	( 0)	( 27,840,000)	( 1,740,000)

2.

リ　　ー　　ス　　資　　産													
年　月　日			摘　　要		借　方		年　月　日			摘　　要		貸　方	
18	4	1	前　期　繰　越		64,104,000		18	10	1	諸　　　　　口		30,720,000	
18	10	1	リ　　ー　　ス　債　務		27,840,000		19	3	31	次　期　繰　越		61,224,000	
					91,944,000							91,944,000	

リース資産減価償却累計額

年 月 日			摘 要	借 方	年 月 日			摘 要	貸 方
18	10	1	諸口	26,100,000	18	4	1	前期繰越	36,732,000
19	3	31	次期繰越	19,716,000	18	9	30	減価償却費	4,632,000
					19	3	31	減価償却費	4,452,000
				45,816,000					45,816,000

リ　　ー　　ス　　債　　務													
年　月　日			摘　　要		借　方		年　月　日			摘　　要		貸　方	
18	9	30	普　　通　　預　　金		4,632,000		18	4	1	前　　期　　繰　　越		27,372,000	
18	10	1	普　　通　　預　　金		4,620,000		18	10	1	リ　　ー　　ス　　資　　産		27,840,000	
19	3	31	普　　通　　預　　金		4,452,000					<div></div>			
19	3	31	次　　期　　繰　　越		41,508,000								
					55,212,000							55,212,000	

3	当 期 の 支 払 利 息	¥	1,092,000
	当 期 の 支 払 リ ー ス 料	¥	10,860,000
	当 期 の リ ー ス 資 産 除 却 損	¥	4,620,000

1 つにつき 2 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 第3問 (20点)

損 益 計 算 書			
自20X8年4月1日 至20X9年3月31日			
			(単位：千円)
I 売 上 高		(	4,090,000 )
II 売 上 原 価		(	2,836,700 )
売 上 総 利 益		(	1,253,300 )
III 販売費及び一般管理費			
1 販 売 費	(	679,500 )	
2 減 価 償 却 費	(	24,000 )	
3 退 職 給 付 費 用	(	180,000 )	
4 貸 倒 引 当 金 繰 入	(	6,700 )	(
営 業 利 益			890,200 )
		(	363,100 )
IV 営 業 外 収 益			
1 受 取 利 息 ・ 配 当 金		1,300	
2 有 価 証 券 利 息	(	160 )	
3 製 品 保 証 引 当 金 戻 入	(	1,700 )	(
V 営 業 外 費 用			3,160 )
1 支 払 利 息			16,400
当 期 純 利 益		(	349,860 )

## 貸借対照表に表示される項目

(単位：千円)	
① 仕 掛 品	80,000
② 投資有価証券	9,840
③ 買 掛 金	1,050,000

1 つにつき 2 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

工 業 簿 記

第 4 問 (20 点)

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	材 料	2, 160, 000	買 掛 金	2, 000, 000
			材 料 副 費	160, 000
2	材 料 副 費 差 異	23, 000	材 料 副 費	23, 000
3	仕 掛 品	4, 200, 000	賃 金 ・ 給 料	5, 110, 000
	製 造 間 接 費	910, 000		
4	仕 掛 品	2, 520, 000	製 造 間 接 費	2, 520, 000
5	予 算 差 異	80, 000	製 造 間 接 費	130, 000
	操 業 度 差 異	50, 000		

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

第 5 問 (20 点)

材		料	
月 初 有 高	841, 500	仕 掛 品	( 11, 280, 000 )
買 掛 金	12, 348, 000	消 費 価 格 差 異	( 249, 500 )
		消 費 数 量 差 異	( 288, 000 )
		月 末 有 高	( 1, 372, 000 )
	13, 189, 500		( 13, 189, 500 )
仕 掛 品			
材 料	( 11, 280, 000 )	製 品	( 19, 575, 000 )
加 工 費	( 8, 931, 000 )	月 末 有 高	( 636, 000 )
	( 20, 211, 000 )		( 20, 211, 000 )

1 つにつき 3 点  
1 つにつき 2 点

合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 【2 級解説】

## 第 1 問

1. 端数利息を受け取ったときは「有価証券利息」勘定(収益)で処理します。なお、端数利息の計算期間は、直前の利払日の翌日から売却日までの期間の利息です。

$$\text{払出原価} : ¥1,000,000 \times \frac{¥98}{¥100} = ¥980,000$$

$$\text{売却価額} : ¥1,000,000 \times \frac{¥97}{¥100} = ¥970,000$$

$$\text{売却損益} : ¥970,000 - ¥980,000 = \triangle ¥10,000 \text{ (売却損)}$$

$$\text{端数利息 (4.1} \sim 9.1) : ¥1,000,000 \times 0.73\% \times \frac{154 \text{ 日}}{365 \text{ 日}} = ¥3,080$$

2. 手形の更改を行なった場合は、旧約束手形の手形金額を支払手形勘定から減少させ、新約束手形の手形金額を支払手形勘定に計上する。

3. 支払期日前に債務の返済を行い、一部支払いを免除された場合は、金融上の収益となるので、当該免除額を仕入割引(営業外収益)として貸方に仕訳します。

$$\text{仕入割引} : ¥1,200,000 \times 1\% = ¥12,000$$

4. 修理工事代金のうち改良工事に該当する金額 ¥600,000 は資本的支出となるので、固定資産の取得原価に加算します。残額の ¥900,000 は収益的支出として当期の費用となりますが、修繕引当金が計上されているので、当該引当金を取り崩して補てんし、残額を修繕費勘定に計上します。

5. 時価評価差額 : (@ ¥900 - @ ¥800) × 10,000 株 = ¥1,000,000 (将来加算一時差異)

$$\text{繰延税金負債} : ¥1,000,000 \times 30\% = ¥300,000$$

$$\text{その他有価証券評価差額金} : ¥1,000,000 - ¥300,000 = ¥700,000$$

## 第 2 問 (仕訳の単位 : 円)

## I ファイナンス・リース資産

## 備品 A

1. 差引期首帳簿価額 : ¥6,600,000 - ¥1,320,000 = ¥5,280,000 (固定資産台帳)

$$2. \text{当期減価償却費} : ¥6,600,000 \div 5 \text{ 年} \times \frac{6 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = ¥660,000$$

18.9.30 (減 価 償 却 費)      660,000      (リース資産減価償却累計額)      660,000

19.3.31 (減 価 償 却 費)      660,000      (リース資産減価償却累計額)      660,000

3. リース料の支払い

$$1 \text{ 回あたりリース料の支払額} : ¥7,200,000 \div (5 \text{ 年} \times 2 \text{ 回}) = ¥720,000$$

$$\text{支払利息} : (¥7,200,000 - ¥6,600,000) \div (5 \text{ 年} \times 2 \text{ 回}) = ¥60,000$$

$$\text{リース債務} : ¥720,000 - ¥60,000 = ¥660,000$$

$$\text{期首リース債務} : ¥6,600,000 - ¥660,000 \times 2 \text{ 回} = ¥5,280,000$$

18.9.30 (リース債務)      660,000      (普通預金)      720,000

(支払利息)      60,000

19.3.31 (リース債務)      660,000      (普通預金)      720,000

(支払利息)      60,000

## 備品B

1. 差引期首帳簿価額： $\yen6,000,000 - \yen4,200,000 = \yen1,800,000$  (固定資産台帳)
2. 当期減価償却費： $\yen6,000,000 \div 5 \text{ 年} \times \frac{6 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = \yen600,000$ 

18.9.30 (減価償却費)	600,000	(リース資産減価償却累計額)	600,000
19.3.31 (減価償却費)	600,000	(リース資産減価償却累計額)	600,000
3. リース料の支払い
 

1 回あたりリース料の支払額： $\yen6,480,000 \div (5 \text{ 年} \times 2 \text{ 回}) = \yen648,000$

支払利息： $(\yen6,480,000 - \yen6,000,000) \div (5 \text{ 年} \times 2 \text{ 回}) = \yen48,000$

リース債務： $\yen648,000 - \yen48,000 = \yen600,000$

期首リース債務： $\yen6,000,000 - \yen600,000 \times 7 \text{ 回} = \yen1,800,000$

18.9.30 (リース債務)	600,000	(普通預金)	648,000
(支払利息)	48,000		
19.3.31 (リース債務)	600,000	(普通預金)	648,000
(支払利息)	48,000		

## 備品C

1. 差引期首帳簿価額： $\yen7,344,000 - \yen3,672,000 = \yen3,672,000$  (固定資産台帳)
2. 当期減価償却費： $\yen7,344,000 \div 6 \text{ 年} \times \frac{6 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = \yen612,000$ 

18.9.30 (減価償却費)	612,000	(リース資産減価償却累計額)	612,000
19.3.31 (減価償却費)	612,000	(リース資産減価償却累計額)	612,000
3. リース料の支払い
 

1 回あたりリース料の支払額： $\yen7,920,000 \div (6 \text{ 年} \times 2 \text{ 回}) = \yen660,000$

支払利息： $(\yen7,920,000 - \yen7,344,000) \div (6 \text{ 年} \times 2 \text{ 回}) = \yen48,000$

リース債務： $\yen660,000 - \yen48,000 = \yen612,000$

期首リース債務： $\yen7,344,000 - \yen612,000 \times 6 \text{ 回} = \yen3,672,000$

18.9.30 (リース債務)	612,000	(普通預金)	660,000
(支払利息)	48,000		
19.3.31 (リース債務)	612,000	(普通預金)	660,000
(支払利息)	48,000		

## 機械D

1. リース資産(1台)の除却
 

18.9.30 (減価償却費)	420,000 *	(リース資産減価償却累計額)	420,000
-----------------	-----------	----------------	---------

\*  $\yen6,720,000 \div 8 \text{ 年} \times \frac{6 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = \yen420,000$

18.10.1 (リース資産減価償却累計額)	2,100,000 * <sup>2</sup>	(リース資産)	6,720,000 * <sup>1</sup>
(リース資産除却損)	4,620,000		
(リース債務)	4,620,000 * <sup>3</sup>	(普通預金)	4,620,000

\*<sup>1</sup>  $\yen20,160,000 \div 3 \text{ 台} = \yen6,720,000$

\*<sup>2</sup>  $\yen6,720,000 \div 8 \text{ 年} \times 2 \text{ 年} + \yen420,000 = \yen2,100,000$

\*<sup>3</sup>  $\yen6,720,000 \times \frac{8 \text{ 年} \times 2 \text{ 回} - 5 \text{ 回}}{8 \text{ 年} \times 2 \text{ 回}} = \yen4,620,000$

2. 期首取得原価：¥20,160,000－¥6,720,000＝¥13,440,000(固定資産台帳)

3. 期首減価償却累計額：¥13,440,000÷8年×2年＝¥3,360,000(固定資産台帳)

4. 差引期首帳簿価額：¥13,440,000－¥3,360,000＝¥10,080,000(固定資産台帳)

5. 当期減価償却費：¥13,440,000÷8年× $\frac{6\text{カ月}}{12\text{カ月}}$ ＝¥840,000

18.9.30 (減 価 償 却 費) 840,000 (リース資産減価償却累計額) 840,000

19.3.31 (減 価 償 却 費) 840,000 (リース資産減価償却累計額) 840,000

6. リース料の支払い

(1) 2018年9月30日(3台分)

1回あたりリース料の支払額：¥23,040,000÷(8年×2回)＝¥1,440,000

支払利息：(¥23,040,000－¥20,160,000)÷(8年×2回)＝¥180,000

リース債務：¥1,440,000－¥180,000＝¥1,260,000

期首リース債務：¥20,160,000－¥1,260,000×4回＝¥15,120,000

18.9.30 (リ ー ス 債 務) 1,260,000 (普 通 預 金) 1,440,000  
(支 払 利 息) 180,000

(2) 2019年3月31日(2台分)

1回あたりリース料の支払額：¥1,440,000× $\frac{2\text{台}}{3\text{台}}$ ＝¥960,000

支払利息：¥180,000× $\frac{2\text{台}}{3\text{台}}$ ＝¥120,000

リース債務：¥960,000－¥120,000＝¥840,000

19.3.31 (リ ー ス 債 務) 840,000 (普 通 預 金) 960,000  
(支 払 利 息) 120,000

## 機械E

1. リース料の支払い(2018年9月30日最終回)

1回あたりリース料の支払額：¥28,800,000÷(8年×2回)＝¥1,800,000

支払利息：(¥28,800,000－¥24,000,000)÷(8年×2回)＝¥300,000

リース債務：¥1,800,000－¥300,000＝¥1,500,000

期首リース債務：¥24,000,000－¥1,500,000×15回＝¥1,500,000

18.9.30 (リ ー ス 債 務) 1,500,000 (普 通 預 金) 1,800,000  
(支 払 利 息) 300,000

2. リース資産の返却

18.9.30 (減 価 償 却 費) 1,500,000 \* (リース資産減価償却累計額) 1,500,000

\* ¥24,000,000÷8年× $\frac{6\text{カ月}}{12\text{カ月}}$ ＝¥1,500,000

18.10.1 (リース資産減価償却累計額) 24,000,000 (リ ー ス 資 産) 24,000,000

## 機械F(固定資産台帳へ)

1. 取得時(固定資産台帳 期中取得)

18.10.1 (リ ー ス 資 産) 27,840,000 (リ ー ス 債 務) 27,840,000

## 2. リース料支払時

19.3.31 (リース債務) 1,740,000 (普通預金) 1,920,000 <sup>\*1</sup>  
 (支払利息) 180,000 <sup>\*2</sup>

\*1  $\text{¥}30,720,000 \div (8 \text{ 年} \times 2 \text{ 回}) = \text{¥}1,920,000$

\*2  $(\text{¥}30,720,000 - \text{¥}27,840,000) \div (8 \text{ 年} \times 2 \text{ 回}) = \text{¥}180,000$

## 3. 減価償却費の計上(固定資産台帳 当期減価償却費)

19.3.31 (減価償却費) 1,740,000 (リース資産減価償却累計額) 1,740,000 <sup>\*</sup>

\*  $\text{¥}27,840,000 \div 8 \text{ 年} \times \frac{6 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = \text{¥}1,740,000$

## II オペレーティング・リース資産

## 事務所

18.9.30 (支払リース料) 3,000,000 (普通預金) 3,000,000 <sup>\*</sup>

19.3.31 (支払リース料) 3,000,000 (普通預金) 3,000,000 <sup>\*</sup>

\*  $\text{¥}30,000,000 \div (5 \text{ 年} \times 2 \text{ 回}) = \text{¥}3,000,000$

## 車 輦

18.9.30 (支払リース料) 1,080,000 (普通預金) 1,080,000 <sup>\*</sup>

19.3.31 (支払リース料) 1,080,000 (普通預金) 1,080,000 <sup>\*</sup>

\*  $\text{¥}4,320,000 \div (2 \text{ 年} \times 2 \text{ 回}) = \text{¥}1,080,000$

## 新事務所

18.9.30 (支払リース料) 900,000 (普通預金) 900,000 <sup>\*</sup>

18.12.31 (支払リース料) 900,000 (普通預金) 900,000 <sup>\*</sup>

19.3.31 (支払リース料) 900,000 (普通預金) 900,000 <sup>\*</sup>

\*  $\text{¥}10,800,000 \div (3 \text{ 年} \times 4 \text{ 回}) = \text{¥}900,000$

## 第3問 (仕訳の単位：千円)

3 月中の取引及び決算整理仕訳は以下のとおりです。

## 1. 3 月製造活動について

(材料)	120,000	(買掛金)	120,000
(仕掛品)	90,000	(材料)	115,000
(製造間接費)	25,000		
(賃金)	100,000	(現金預金)	100,000
(仕掛品)	100,000	(賃金)	100,000
(仕掛品)	110,000	(製造間接費)	110,000
(製造間接費)	41,000	(現金預金)	41,000
(製品)	280,000	(仕掛品)	280,000
(売上原価)	260,000	(製品)	260,000
(売掛金)	350,000	(売上)	350,000



## 2. 買掛金及び売掛金について

(買 掛 金)	185,000	(現 金 預 金)	185,000
(現 金 預 金)	300,000	(売 掛 金)	300,000

## 3. 販売費について

(販 売 費)	51,500	(現 金 預 金)	51,500
---------	--------	-----------	--------

## 4. 期末棚卸資産の算定について

材料

(棚 卸 減 耗 損)	500*	(材 料)	500
(製 造 間 接 費)	500	(棚 卸 減 耗 損)	500

\* 帳簿棚卸高：49,500 千円＋120,000 千円－115,000 千円＝54,500 千円

棚卸減耗損：帳簿棚卸高 54,500 千円－実地棚卸高 54,000 千円＝500 千円

製品

(棚 卸 減 耗 損)	600*	(製 品)	600
(売 上 原 価)	600	(棚 卸 減 耗 損)	600

\* 帳簿棚卸高：30,000 千円＋280,000 千円－260,000 千円＝50,000 千円

棚卸減耗損：帳簿棚卸高 50,000 千円－実地棚卸高 49,400 千円＝600 千円

## 5. 減価償却費について

(減 価 償 却 費)	17,000	(建 物 減 価 償 却 累 計 額)	5,000
		(機 械 装 置 減 価 償 却 累 計 額)	12,000
(製 造 間 接 費)	15,000*	(減 価 償 却 費)	15,000

\* 製造用の減価償却費は、全て製造原価に振替

## 6. 貸倒引当金の設定について

(貸 倒 引 当 金 繰 入)	6,700*	(貸 倒 引 当 金)	6,700
-----------------	--------	-------------	-------

売掛金の期末残高の 1% (14,300 千円) を貸倒引当金として設定するため、決算整理前の貸倒引当金残高 7,600 千円に 6,700 千円を繰り入れます。

\*  $(1,380,000 \text{ 千円} + 350,000 \text{ 千円} - 300,000 \text{ 千円}) \times 1\% - 7,600 \text{ 千円} = 6,700 \text{ 千円}$ 

## 7. 退職給付引当金について

製造活動に携わる従業員にかかわる費用

(製 造 間 接 費)	30,000 <sup>*1</sup>	(退 職 給 付 引 当 金)	30,000
(製 造 間 接 費)	600 <sup>*2</sup>	(退 職 給 付 引 当 金)	600

\*1 年度見積額の 12 分の 1 を、問題文より計上

\*2 年度見積額より多かった費用を、問題文より計上

それ以外の従業員にかかわる費用

(退 職 給 付 費 用)	15,000*	(退 職 給 付 引 当 金)	15,000
---------------	---------	-----------------	--------

\* 年度見積額の 12 分の 1 を、問題文より計上

8. 製品保証引当金について

(製品保証引当金)	29,700	(製品保証引当金戻入)	29,700 <sup>*1</sup>
(製品保証引当金繰入)	28,000 <sup>*2</sup>	(製品保証引当金)	28,000

損益計算書に表示する際には、問題文に記載されている通り、「製品保証引当金戻入」と「製品保証引当金繰入」を相殺し、計上します。

\*1 製品保証引当金戻入：残高試算表の「製品保証引当金」勘定残高を戻入

\*2 製品保証引当金繰入：問題文資料より判明

9. 有価証券について

A社社債

(投資有価証券)	9,800	(有価証券)	9,800
----------	-------	--------	-------

・利払日

(普通預金)	60 <sup>*</sup>	(有価証券利息)	60
--------	-----------------	----------	----

$$*10,000 \text{ 千円} \times 1.2\% \times \frac{6 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = 60 \text{ 千円}$$

・償却原価法

(投資有価証券)	40 <sup>*</sup>	(有価証券利息)	40
----------	-----------------	----------	----

$$* (10,000 \text{ 千円} - 9,800 \text{ 千円}) \times \frac{12 \text{ カ月}}{60 \text{ カ月}} = 40 \text{ 千円}$$

B社株式

(関係会社株式)	11,800	(有価証券)	11,800
----------	--------	--------	--------

※ 原価差異について

(製造間接費配賦差異)	2,100 <sup>*</sup>	(製造間接費)	2,100
(売上原価)	2,100	(製造間接費配賦差異)	2,100

〔資料2〕 1. の問題文より、原価差異はそれぞれの月で売上原価に賦課します。

$$* \text{製造間接費実際発生額} : 25,000 \text{ 千円} + 41,000 \text{ 千円} + 500 \text{ 千円} + 15,000 \text{ 千円} + 30,000 \text{ 千円} + 600 \text{ 千円} \\ = 112,100 \text{ 千円}$$

$$\text{製造間接費配賦差異} : \text{予定配賦額 } 110,000 \text{ 千円} - \text{実際発生額 } 112,100 \text{ 千円} = \Delta 2,100 \text{ 千円 (不利差異)}$$

第4問

1. 購入代価：20,000 個 × @100 円 = 2,000,000 円

材料副費（予定配賦額）：2,000,000 円 × 8% = 160,000 円

取得原価：2,000,000 円 + 160,000 円 = 2,160,000 円

2. 材料副費差異：予定配賦額 160,000 円－実際発生額 183,000 円 = Δ23,000 円（借方差異・不利差異）

3. 仕掛品：直接工 2,800 時間 × 予定賃率 1,500 円 = 4,200,000 円

製造間接費：直接工 220 時間 × 予定賃率 1,500 円 = 330,000 円

間接工 当月支払 600,000 円 + 当月未払 160,000 円－前月末払 180,000 円 = 580,000 円

合計 330,000 円 + 580,000 円 = 910,000 円

4. 予定配賦率：(13,920,000 円＋17,400,000 円) ÷ 34,800 総直接作業時間＝900 円

変動費率：13,920,000 円 ÷ 34,800 総直接作業時間＝400 円

固定費率：17,400,000 円 ÷ 34,800 総直接作業時間＝500 円

予定配賦額：2,800 直接作業時間 × 予定配賦率 900 円＝2,520,000 円

5. 予算差異：2,800 直接作業時間 × 変動費率 400 円＋1,450,000 円－2,650,000 円

＝△80,000 円（借方差異・不利差異）

操業度差異：(2,800 直接作業時間－基準操業度 2,900 時間) × 固定費率 500 円

＝△50,000 円（借方差異・不利差異）

## 第 5 問

・材料実際消費金額：4,950 円 × 170 kg＋4,900 円 × 2,520 kg－4,900 円 × 280 kg＝11,817,500 円

## 材料勘定

〔貸方〕

・仕掛品：4,800 円 × 2,350 個＝11,280,000 円

・消費価格差異：4,800 円 × 2,410 kg－11,817,500 円＝△249,500 円（借方差異・不利差異）

・消費数量差異：4,800 円 × (2,350－2,410)＝△288,000 円（借方差異・不利差異）

・月末有高：4,900 円 × 280 kg＝1,372,000 円

## 仕掛品勘定（シングル・プラン）

〔借方〕

・材料：11,280,000 円（材料勘定 消費額と同額）

・加工費：3,900 円 × (2,250 個＋100 個 × 40%)＝8,931,000 円

〔貸方〕

・製品：8,700 円 × 2,250 個＝19,575,000 円

・月末有高：4,800 円 × 100 個＋3,900 円 × 100 個 × 40%＝636,000 円